

科目名	ゲーム制作演習Ⅲ					
科目名(英)						
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	荒木 優介	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ゲーム会社に所属し、 ゲームプログラマーとして勤務	
対象学科・学年	ゲームクリエイタ科3年					
授業概要	ゲーム業界に就職するためには、企業に提出しても問題ない作品が必要である。これまでに制作してきた作品はコーディングまでは十分に組まれておらず、修正箇所が多く見受けられる。この授業を通して今まで学んだ知識を応用してより美しいプログラムを組むことを目指し、企業に提出しても恥ずかしくない状態にする。					
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					オブジェクト指向の理解を深め、より柔軟なプログラムを組めるようになる
	○					デザインパターンの理解を深め、効率の良いプログラムを組めるようになる
	○					就職活動用のゲームのプログラムの質を上げる
テキスト・教材 参考図書	各項目別スライド					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	2	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	3	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	4	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	5	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	6	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	7	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	8	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	9	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	10	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	11	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	12	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	13	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	14	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	15	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	16	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	17	第1回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	18	第1回マイルストーン確認			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	19	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	20	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	21	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	22	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	23	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	24	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
	25	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること	
26	第2回マイルストーンのための各自作業			進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること		

	27	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	28	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	29	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	30	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	31	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	32	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	33	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	34	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	35	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	36	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	37	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	38	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	39	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	40	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	41	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	42	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	43	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	44	第2回マイルストーンのための各自作業					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
	45	第2回マイルストーン確認					進捗遅れが発生している場合は、放課後に作業をすること
評価方法	就職活動で提出する作品の出来栄で評価を付ける。 授業で習得したテクニックが使用されていれば加点する。 授業以外でも自主的に習得したテクニックが使用されていれば加点する。 また作業への取り組み方や授業態度も踏まえる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	就職作品	◎	◎				50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意							

科目名	就職実務Ⅱ					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	荒木 優介	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ゲーム会社に所属し、 ゲームプログラマーとして勤務	
対象学科・学年	ゲームクリエイタ科3年					
授業概要	就職活動も本格化し、各自希望の企業に向けて受験を行っていく時期となっている。昨今はIT・ゲーム業界の動向は早くなってきており、しっかりと準備を早い時期から行っておく必要が出てきている。この講座では、各々が希望する業界への内定に向けて、履歴書の作成・企業研究・面接練習などを行っていく。また、学校求人案内や提出物の作成・確認など就職活動を行う上で必要な事を中心に行っていく。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					書類選考に備え、履歴書を作成する
	○					企業研究を行い、進路決定の選択肢を増やす
	○					面接練習を行い、面接試験に備える
	○	○				就職活動用のゲーム作品のクオリティを上げる
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	履歴書:自己PRのブラッシュアップ			考えておいた自己PRについて分析すること	
	2	履歴書:志望動機を考える			受験したい会社を決めておくこと	
	3	企業研究:希望業種の企業研究			研究したい業種、会社を決めておくこと	
	4	企業研究:求人が来ている企業の研究			求人票を見て興味のある企業を探すこと	
	5	面接練習:自己PR、志望動機について			質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと	
	6	面接練習:希望業種特有の質問に対する答え方			質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと	
	7	就職作品:就職作品のブラッシュアップ			修正箇所を考えておくこと	
	8	就職作品:就職作品のブラッシュアップ			修正箇所を考えておくこと	
	9	履歴書:自己PRのブラッシュアップ			考えておいた自己PRについて分析すること	
	10	履歴書:志望動機を考える			受験したい会社を決めておくこと	
	11	企業研究:希望業種の企業研究			研究したい業種、会社を決めておくこと	
	12	企業研究:求人が来ている企業の研究			求人票を見て興味のある企業を探すこと	
	13	面接練習:自己PR、志望動機について			質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと	
	14	面接練習:希望業種特有の質問に対する答え方			質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと	
	15	就職作品:就職作品のブラッシュアップ			修正箇所を考えておくこと	
	16	就職作品:就職作品のブラッシュアップ			修正箇所を考えておくこと	
	17	履歴書:自己PRのブラッシュアップ			考えておいた自己PRについて分析すること	
	18	履歴書:志望動機を考える			受験したい会社を決めておくこと	
	19	企業研究:希望業種の企業研究			研究したい業種、会社を決めておくこと	
	20	企業研究:求人が来ている企業の研究			求人票を見て興味のある企業を探すこと	
	21	面接練習:自己PR、志望動機について			質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと	
	22	面接練習:希望業種特有の質問に対する答え方			質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと	
	23	就職作品:就職作品のブラッシュアップ			修正箇所を考えておくこと	
	24	就職作品:就職作品のブラッシュアップ			修正箇所を考えておくこと	
	25	履歴書:自己PRのブラッシュアップ			考えておいた自己PRについて分析すること	
26	履歴書:志望動機を考える			受験したい会社を決めておくこと		

	27	企業研究:希望業種の企業研究	研究したい業種、会社を決めておくこと				
	28	企業研究:求人が来ている企業の研究	求人票を見て興味のある企業を探すこと				
	29	面接練習:自己PR、志望動機について	質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと				
	30	面接練習:希望業種特有の質問に対する答え方	質問を想定してあらかじめ答えを考えておくこと				
評価方法							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
履修上の注意							

科目名	C#						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	関谷 純		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ゲーム開発会社にてプログラミングを担当		
対象学科・学年	ゲームクリエイタ科 3年						
授業概要	昨今のゲーム開発現場において、C#でゲーム開発を行われるケースも増えてきた。特にスマートフォンゲーム開発に非常に使用されているUnityはC#である。これまで学習したC言語やC++とは違った記述方法もあるので、それらを学習し理解する。また、C#独自の機能を理解し、Unityのゲーム開発に活かすことが目的。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					VisualStudioにおけるコントロールとプロパティの操作ができる。	
	○	○				リストボックス、コンボボックス、ラジオボタン、チェックボックスの機能を使うことができる。	
	○	○				C#のファイル操作を使うことができ、ツールに組み込むことができる。	
		○				複数フォームの管理、データ受け渡しができる。	
テキスト・教材 参考図書	各項目別スライド						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	C#導入 - プロパティ解説、ラベル、文字列結合、四則演算				VisualStudioでのプロジェクト作成方法を復習しておくこと	
	2	条件文と繰り返し文 - 各機能解説、練習、課題提示、作業				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
	3	リストボックス、コンボボックス - 各機能解説、練習				プロパティとラベル機能について復習しておくこと	
	4	ラジオボタン、チェックボックス - 各機能解説、練習、課題提示、作業				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
	5	画像表示機能、タイマー、配列 - 各機能解説、練習、課題提示、作業				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
	6	画像表示機能、タイマー、配列 - 課題作業続き				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
	7	ファイル操作 - ファイル読込、練習				プロパティとラベル機能について復習しておくこと	
	8	ファイル操作 - ファイル書き出し、練習				ファイル読込について復習しておくこと	
	9	ファイル操作 - 課題提示、課題作業続き				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
	10	メニュー、openFileDialog - 各機能解説、練習				授業項目の内容をwebで事前に調べておくこと	
	11	saveFileDialog - 各機能解説、練習				授業項目の内容をwebで事前に調べておくこと	
	12	複数フォームの管理(データ受け渡し) - 手法の解説、練習				saveFileDialogの項目まで復習しておくこと	
	13	評価課題 - 課題提示、課題作業				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
	14	評価課題 - 課題作業続き				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること	
15	評価課題 - 課題作業続き				課題作業に遅れがある場合、放課後に作業すること		
評価方法	(1)定期試験 (2)各項目課題提出状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	評価課題	○	◎		◎		80%
	各項目課題	○	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、評価を実施しない。						

科目名	グループ制作演習					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	荒木 優介	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ゲーム会社に所属し、 ゲームプログラマーとして勤務	
対象学科・学年	ゲームクリエイタ科3年					
授業概要	ゲーム会社でゲームを作る際は、必ずチームで開発を行うことになる。 この授業ではチーム制作で必ず使用することになるサブバージョンについて学んだり、 実際にチームを組みゲームを制作する。					
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				サブバージョンについて学び、tortoiseSVNを使用できるようになる。
	○	○				ゲーム開発でのミーティングについて学び、開発効率を上げる
	○	○				チーム制作でゲームを完成させる
テキスト・教材 参考図書	各項目別スライド					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	サブバージョンの説明			1年生の時に学んだことの復習	
	2	オリジナルゲームのチーム制作			どのようなゲームを作るかチームで決めておく	
	3	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	4	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	5	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	6	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	7	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	8	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	9	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	10	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	11	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	12	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	13	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	14	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	15	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	16	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	17	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	18	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	19	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	20	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	21	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	22	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	23	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	24	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	25	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	
	26	オリジナルゲームのチーム制作			遅延作業を取り返すため放課後等に作業する	

	27	オリジナルゲームのチーム制作	遅延作業を取り返すため放課後等に作業する				
	28	オリジナルゲームのチーム制作	遅延作業を取り返すため放課後等に作業する				
	29	オリジナルゲームのチーム制作	遅延作業を取り返すため放課後等に作業する				
	30	オリジナルゲームの発表	発表で使用する資料の作成				
評価方法	制作したゲームのクオリティと、チームへの貢献度で成績を付ける。 チームへの貢献度は、各メンバーの担当箇所によって判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ゲームのクオリティ	◎	◎				50%
	チームへの貢献度	◎	◎				50%
履修上の注意							

科目名	ドキュメンテーション I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	谷口 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	OAインストラクタとしてセミナーを担当		
対象学科・学年	ゲームクリエイター科3年						
授業概要	働き始めると、必ず文書を作成する機会がある。本授業ではWordの基本的な操作方法から始め、指定されたレポートを作成できるような技能を身につける。そのために、Word文書処理技能認定試験の練習問題を使用する。最終的にWord文書処理技能認定試験3級程度の技能習得を目指す。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				Wordについて作業環境構築、設定変更方法ができる	
	○	○				文書編集、罫線と表を理解し、追加・変更が行える	
	○	○				オブジェクトの追加(図や写真)が行える	
テキスト・教材 参考図書	2016対応 Word文書処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題集:練習問題1, 練習問題2, 解説			Wordについて以前の授業を復習しておく		
	2	問題集:練習問題3, 模擬試験1, 解説			前回の問題について復習しておく		
	3	問題集:模擬試験2, 模擬試験3, 解説			前回の問題について復習しておく		
	4	問題集:模擬試験4, 模擬試験5, 解説			前回の問題について復習しておく		
	5	問題集:模擬試験6, 模擬試験7, 解説			前回の問題について復習しておく		
	6	長文作成機能(プリント対応)					
	7	評価課題:指定内容でのレポート作成			これまでの問題について復習しておく		
8	評価課題:指定内容でのレポート作成 続き			作業が間に合わない場合は、放課後に実施する			
評価方法	評価課題と、毎時間実施する練習問題および模擬試験で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	評価課題	◎	◎				80%
	練習問題・模擬試験	◎	◎				20%
履修上の注意	出席が全体の2/3に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Unity					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	46時間	担当者	荒木 優介	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ゲーム会社に所属し、 ゲームプログラマーとして勤務	
対象学科・学年	ゲームクリエイター科3年					
授業概要	昨今のゲーム業界ではゲームエンジンを使用した開発が大変流行している。 その中でも特にシェアの高いUnityの知識をつけ、就職後に即戦力になれるよう学んでいく。 C#のプログラミングも必須になるので、それらを踏まえた演習形式で授業する。					
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				Unityの導入から学び、1人で環境構築できるようになる
	○	○				Prefabを学び、オブジェクトを機能ごとにまとめられるようになる
	○	○				Prefabを組み合わせてゲームを開発できるようになる
	○	○				ゲーム開発の手助けとなる便利な機能を覚える
	○	○				オリジナルゲームを制作し、完成させる
テキスト・教材 参考図書	各項目別スライド					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	Unityの導入			Unityのアカウントを作成しておく Unityについてネットで調べておく	
	2	C#スクリプト: 基本的な使い方			C#について復習しておく	
	3	Prefab			オブジェクト指向について復習しておく	
	4	物理演算と当たり判定			Unityの当たり判定についてネットで調べておく	
	5	自作のモデル表示とAssetStore			Blenderについて復習しておく	
	6	シーンの遷移			Unityのシーン遷移についてネットで調べておく	
	7	テクスチャとスプライト			Photoshopについて復習しておく	
	8	3Dモデルのアニメーション			Blenderについて復習しておく	
	9	C#スクリプト: 他オブジェクトへのアクセス方法			C#について復習しておく	
	10	C#スクリプト: マルチシーンの説明とゲームへの応用			C#について復習しておく	
	11	サウンドの実装			Unityのサウンドについてネットで調べておく	
	12	パーティクルエフェクトの実装			パーティクルエフェクトについて復習しておく	
	13	これまでの復習課題			今回までの授業を振り返っておく	
	14	オリジナルゲーム制作			制作するゲームをあらかじめ考えておく	
	15	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	16	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	17	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	18	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	19	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	20	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	21	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	22	オリジナルゲーム制作			遅延作業の補填を行っておく	
	23	オリジナルゲームの発表			発表する際の資料を作成しておく	
	オリジナルゲームの完成度、授業態度、課題で評価を付ける					

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	オリジナルゲーム	◎	◎				50%
	授業態度	◎	◎				50%
履修上の注意							

科目名	Java					
科目名(英)						
単位数	3	時間数	46	担当者	山本 隆行	
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	ゲームクリエイータ科3年					
授業概要	Javaは、オブジェクト指向プログラミング言語の一つであり、一般IT業界では幅広く使われている。最近では広く普及してきたAndroidスマートフォンのアプリケーション開発でも活躍しており、今後も広く用いられる事が予想できる。本講座では、すでに学習しているC言語、C++の知識を元にプログラム記述の際の違いや共通点といった流れで基礎を身につけていく。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					eclipseを用いてプロジェクトを作成し、プログラムを完成させる。
		○				C++で作成したコンソールプログラムをJavaで作れるようになる。
		○				Javaプログラミング能力認定試験3級・2級が解けるようになる。
テキスト・教材 参考図書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	eclipseの基本操作			用意したパワーポイントを見ておく事	
	2	変数と四則演算			用意したパワーポイントを見ておく事	
	3	条件分岐と繰り返し			用意したパワーポイントを見ておく事	
	4	配列			用意したパワーポイントを見ておく事	
	5	メソッドの基本			用意したパワーポイントを見ておく事	
	6	メソッドの応用			用意したパワーポイントを見ておく事	
	7	Java基本の確認課題			授業中に終わらなかった場合は完成させておく事	
	8	複数クラスを用いた開発			用意したパワーポイントを見ておく事	
	9	オブジェクト指向			用意したパワーポイントを見ておく事	
	10	様々なクラス機構			用意したパワーポイントを見ておく事	
	11	カプセル化			用意したパワーポイントを見ておく事	
	12	継承			用意したパワーポイントを見ておく事	
	13	ポリモーフィズム			用意したパワーポイントを見ておく事	
	14	クラスを用いた確認課題			授業中に終わらなかった場合は完成させておく事	
	15	総称とコレクションクラス			用意したパワーポイントを見ておく事	
	16	スレッド			用意したパワーポイントを見ておく事	
	17	Javaプログラミング能力認定試験3級過去問題			用意したパワーポイントを見ておく事	
	18	Javaプログラミング能力認定試験3級過去問題			用意したパワーポイントを見ておく事	
	19	Javaプログラミング能力認定試験3級過去問題			用意したパワーポイントを見ておく事	
	20	Javaプログラミング能力認定試験3級過去問題			用意したパワーポイントを見ておく事	
	21	Javaプログラミング能力認定試験2級過去問題			用意したパワーポイントを見ておく事	
	22	Javaプログラミング能力認定試験2級過去問題			用意したパワーポイントを見ておく事	
	23	期末試験			今まで学習した個所を見直しておく事	
	(1)授業の中で課題提出を2回実施する。 (2)講義の最後に定期試験を実施する。(筆記試験) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	宿題・レポート		◎		○		20%
履修上の注意	C・C++の基本を理解している事が前提となる。 全授業回数の3分の2以上の出席を満たさないものは、定期試験は受験できないものとする。						

科目名	一般教養Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	久岡 貴弘		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ゲームクリエイター科3年						
授業概要	就職試験にとどまらず、社会に出てから必要とされる、最低レベルの一般教養を問題集に従って、解説・指導していきます。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					一般常識の問題を解き、就職試験レベルの問題を解けるようになる	
テキスト・教材 参考図書	自作プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	一般常識問題の実施と解説			Webで勉強できる箇所を予習しておく		
	2	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
	3	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
	4	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
	5	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
	6	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
	7	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
	8	一般常識問題の実施と解説			前回の問題と解説を復習しておく		
評価方法	筆記試験の点数を評価にする。 また、授業態度についても評価に加える						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎					80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意							

科目名	文章表現Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	佐藤 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ゲームクリエイター科3年						
授業概要	1、作文を書く時に必要な注意事項や文章の組み立て方、正しい言葉の使い方などを演習問題を解いていく。 2、就職試験で作文の頻出テーマとして扱われるものを実際に書いてもらう。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職活動に必要な文章力を身につけ、自己PR、志望動機を上手に書けるようになる	
	○					日本語の常識的な知識を身につけ、作文や面接をこなせるようになる	
テキスト・教材 参考図書	自作プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己PR作文400字、200字作文				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	2	テーマ「学生生活で得たもの」、200字作文				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	3	テーマ「私の職業観」、助詞「は」「が」の使い分け				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	4	テーマ「最近おもしろかったこと」、主部と述部、助詞「へ」と「に」と「まで」の使い分け、「で」と「に」の違い				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	5	テーマ「勇気について」、200字作文、助詞「が」の適切な使い方				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	6	テーマ「社会的常識とは」、200字作文、カタカナ語を日本語に直す				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	7	テーマ「就職活動を通して」、200字作文、シンプルな表現とは何か				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
	8	テーマ「長所を5つ述べよ」、200字作文				作文に書くことをあらかじめ考えておくこと	
評価方法	各授業の課題作文によって評価する。 また、授業態度も評価に含める。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出課題	◎			○		100%
履修上の注意							